

④ 音楽文化教育専攻

入学試験科目

1. 英語

【一般選抜(A日程)】

以下より1つ選択する。

- (1) 大学入学共通テスト。筆記およびリスニング。
- (2) 本学が行う試験(60分)
- (3) 資格試験

詳細は「④一般選抜概要」を参照のこと。

【一般選抜(B日程)】

調査書の評定を利用する(大学入学共通テスト等は利用しない)。

※英語を母語とする者または国内外を問わず中高等教育において直近3年以上継続して主として英語で教育を受けた者は免除する。ただし、通常の課程による直近3年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出すること。

2. 選択科目

- 一般選抜(A日程)は、以下の課題の(A)～(C)より2つ選択する。
- 一般選抜(B日程)は、以下の課題の(A)～(C)より1つ選択する。

(A) 楽典(50分)

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

(B) 新曲視唱：8小節程度の旋律を1曲

別室で1～2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

- (C) 聴音(30分)： 旋律聴音(8小節程度)・・・ 各専攻共通1題および専攻別1題
和音聴音・・・ 高音部譜表による三和音、4小節程度



※今年度本学で実施の受験講習会にて認定試験で認定された者は、本入試での当該科目の試験を免除する。

3. 小論文(60分)

当日出題する課題について800字程度で論じる。

4. 口述試問(任意の演奏手段による5分程度の音楽実技を含む)

○口述試問の質問内容

志望動機、将来の希望などとともに、試験において作成した論文の内容について問う。

○任意の演奏手段による音楽実技について

声楽、器楽から任意の演奏手段をひとつ選択し、演奏すること。

声楽 自由曲1曲(伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出のこと)

器楽 自由曲3分以上5分程度(複数曲可。伴奏なしで演奏すること)

※楽器は受験者が持ち込めるものに限る。ただし、以下の楽器のみ貸出可。

ピアノ、電子オルガン(ヤマハエレクトーンELS-020)、コントラバス、ハープ、チューバ、マリンバ

○鍵盤楽器以外の実技を選択した場合は「基礎ピアノ」を課す。

2～3分程度の自由曲1曲。レベル、ジャンルは問わない。

※音楽実技(「基礎ピアノ」を含む)は暗譜の必要なし。

※自作曲(編曲を含む)を演奏する場合は出願書類と共に楽譜を提出のこと(製本の必要なし)。